

今年の電波伝搬実験を振り返って

de JA1RIZ

今年の実験移動は、参加ポイント数の減少が危ぶまれましたが、例年と同じくらいの参加局があり、無事に終了することができました。比較的に良いお天気に恵まれたこともあって、全般的にF Bにできたのではないかと思います。厚くお礼申し上げます。そして、お疲れさまでした。

各局の最大の関心事でありました最長距離交信はいかがでしたでしょうか。

とりあえず、暫定結果として次の様に本年の結果発表いたします。

(1) 最長距離交信 (地上波によるもの)

順位	移動局A	移動局B	相互距離(km)
1	JA1VWB/2 伊豆市	JK1CZD/7 福島市	330.2
2	JN1FNQ/Φ志賀高原	JR2CTR/2 鳥羽市	288.1
3	JJ1SXA/1 那須高原	JH1DXJ/1 伊豆大島	270.1

1位の木村OM ⇔ 鈴木OM は相互に、RS 53/51 で確実な交信が出来ました。那須付近の北関東の山岳地等の遮へい損失がかなりあったものと思われるますが、相性が良かったため、コンタクトにつながったのでしょう。

2位の鈴木OM ⇔ 東山OM は中部山岳地帯による遮へい損失が考えられますが、谷あいには「すき間」があり、意外とロスが少なかったのでしょう。RS は52/51 でした。

3位の池OM ⇔ 平野OM の間は、海上伝搬路があるため伝搬損失がすくないことによるものと考えられます。また、大島側での海が見える場所での運用場所で、損失が少ないロケーション選定により、福島市等もっと北方面まで距離が延びるのではないのでしょうか。

(2) 最多ポイント交信

全般的に飛びの良い移動ポイントはどこか？がわかる部門ですね。

やはり、南北に延びた移動ポイントの中心部のポイントが有利という結果がでた様です。

順位	移動局	ポイント数
1	JA1WOB/1 丸山	11
1	JP1PFM/1 黒山	11
2	JJ1SXA/1 那須高原	10

なお、コントロール局、サブコントロール局は番外であります。交信可能ポイントは多く、FBなポイントといえると思います。

(3) その他

こんどの討論のたたき台として、気のついた点は次のとおりです。

① 全体的にむだのないスマートな交信ができたと思います。

遠距離間の交信トライはもう少し「粘り強く」(しつこく)行った方が良かった?!かも…。

② レポートの差の発生について

物理的には、受信感度・送信出力・周囲雑音などの状況により『差』が出ます。そして、人為的には、各人の主観・度合いなどで『差』が発生すると考えられます。

しかし、統一的にデータ収集する場合、それらの『差』はなるべく小さくしておく必要があります。

これらの解決策として、a. 実験前のR (了解度) 及びS (信号強度) の意味の確認、b. 擬似受信信号の聴き比べ、c. 受信機感度の点検 etc. の実施はどうでしょうか。

・
・
・

技術講習会では、今までの移動ポイントの比較をせよ!とのご要望がありましたので、その辺もまとめてお話しできればと思っております。

いまのコンディションはどん底に近いですが、これからが上昇の時期ですので、ますます各エリアからのご参加をいただくことができればFBと思っております。

忘年会での各賞の発表は開けてみてのお楽しみです。

来年も又どうぞ宜しくお願いいたします。

*****締切時間が近づいてきました。その他はまた技術講習会で続きをお願い致します。 Hi hi *****